

高等学校1学年総合的な探究の時間学習指導案（全体計画）

1 単元名 福祉とレクリエーション活動

2 単元の目標

- (1) 「福祉」について知る。
- (2) レクリエーション活動と福祉のつながりについて理解する。
- (3) 身近にできるレクリエーション活動を体験する。


3 単元について

本単元では、「福祉」について学習を深める。そのため、福祉の歴史について知るとともに、福祉が地域にどう関係しているかを、外部の有識者から学ぶこととしている。また、福祉に関わるもののレクリエーション活動の1つにフォーカスをあて、実際に体験しキャリア教育の視点でも学びを深めることとする。

4 単元の評価基準

観点	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ① 「福祉」について、興味・関心をもち、「福祉」について理解している。 ② 「福祉」について、関わる人達には様々な立場の方がいることについて理解している。 ③ 「福祉」にはレクリエーション活動も必要であることを理解している。 ④ 生成AIについて、しくみや活用法等を正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 講師の話聞き、自分事として「福祉」について考え、その役割も考えている。 ② レクリエーション活動の種類をデジタル端末を活用し、調べまとめている。 ③ 与えられたレクリエーション活動について、手順をもとに考え、正しく表現することができる。 ④ 生成AIに正しいプロンプトを投げかけ、対話を重ねながら問題を解決につなげていくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 講師の話聞くことで、自らが「福祉」に関わる活動に進んで関わろうとしている。 ② グループ活動において、自ら進んで、与えられた課題について解決しようと務めている。 ③ 行った学びから、次の活動へつなげる手法等を主体的に考え、生かそうとしている。

5 指導計画（全5時間）

時間	学習活動	注意事項
1 時間目	「福祉」について知る（講話及びディスカッション）。 （東京都社会福祉協議会 出前授業を活用）	社会福祉協議会の出前授業を事前に申し込む。
2 時間目	本時授業で連携を図る施設等の方の話を聞く（講話）。 ※キャリア教育の視点も取り入れる。 例) どのような理念があるのか 1日の流れ、年間の流れ どのような人がこの仕事に向いているか この仕事に就くための資格は何か、進学先は？ 高校生のうちに行くことはどんなことか	※事前に連携できる施設等（保育所、特別養護老人ホーム等）と連携を図り、授業の趣旨を確認しておくことが望まれる。
3 時間目 から 4 時間目	レクリエーション活動を通じた社会貢献活動を行う。 ＜本授業での例＞ ◎飛び出すメッセージカード作り （最終的な加工ができるように、あらかじめパーツごとに分けておくと時間の短縮となる） 誕生日を想定したメッセージの作成を行う タブレットを活用し、メッセージカードのデザインや、ターゲットに対する中身の文言を考える。その際に、 ※生成AIを活用し、適切なプロンプトについて理解する場面も設ける。  https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/generativeai/	使用する教材を事前に予算化しておき、必要な形に整えておく 本授業では ・色画用紙 ・メッセージカード（市販） ・両面テープ ・のり ・シール ・ポケットフィルム 生成AIはじめの一步 （総務省）
5 時間目	活動の振り返りを行う。 （Forms等で提出しリアルタイムで共有） グループごとに、どのような活動を行ったのかを意見交換し学びをまとめる。 自分の住んでいる地域のお祭りにどのようなものがあるか、お祭りに関する伝統文化についても調べる。	可能であれば、お祭りの実行委員の職員等呼び、様子を見に来てもらうと良い。

※本単元では、飛び出すメッセージカードの作成を例として取り上げたが、小学校・中学校における活動でも実施可能な単元である。小学校・中学校で実施する場合には、メッセージカードをつくり、実際にメッセージを添えて、近隣の高齢者福祉施設へプレゼントするという活動も考えられる。

【この授業のポイント】

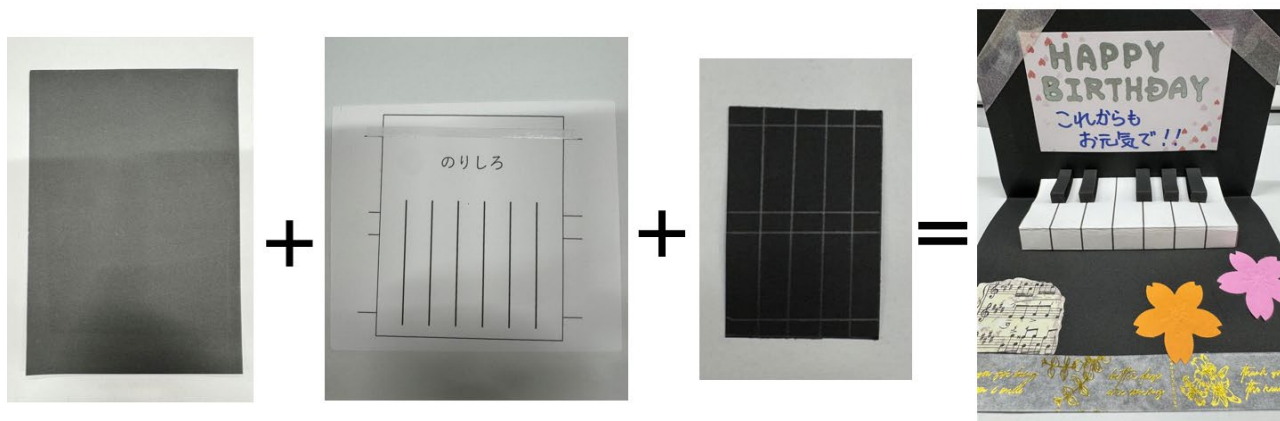
事前学習

- ・福祉について知る
- ・福祉に関わる職業について知る（福祉教育コーディネーターの講話等）
- ・レクリエーション活動について知る（福祉との関りの側面で関連付けを図る）

体験学習

- ・レクリエーション活動（造形体験）

※ターゲットを明確にし、進めていく（下図、スライド表示例）



事後学習

- ・福祉や福祉に関する職業、レクリエーション活動の意義について振り返る
- ・レクリエーション活動で得た成果物等を何らかの形で生かすまたは還元する
- ・自ら進んで福祉に関わる活動を行おうとする

展開のポイントとさらにできること

展開のポイント

- ・福祉やそれに関連する職業については、社会福祉協議会等に事前に相談する（講師派遣など）
（学校として、この単元でのねらいを明確にし伝えることが大事）
- ・生成AIを上手に活用し、社会の課題に解決できるきっかけの時間も設けた
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/generativeai/（総務省内）
- ・発達段階に合わせて、パーツごとに準備しておく（最後、のりで貼って完成のみなど）
→ 苦手な生徒のためにある程度、作られたものを配布するなど実体に沿った形で対応する

さらにできること

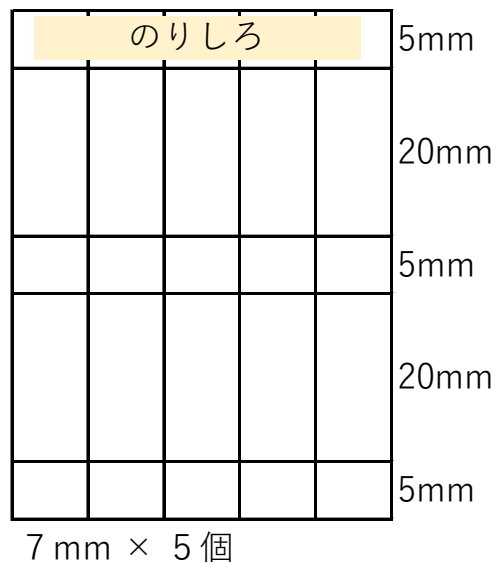
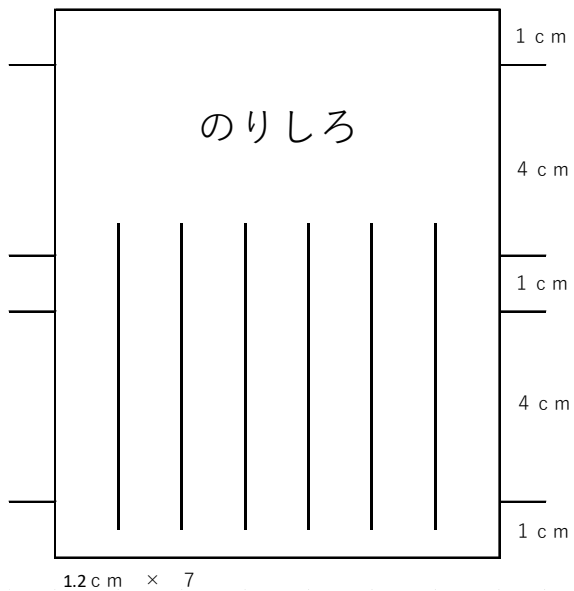
- ・一方向の授業ではなく、双方向の授業を展開できるよう、講師との事前の協議を行う
→ 例えば、「福祉」と聞いてイメージするものや、生徒自身が経験したことのあることを聞く、
または、ディスカッションの場面を設けるなど、考える・話し合う時間があると良い
- ・社会貢献活動に関わる部活動で生かすことが考えられる（その際に、必要な材料の予算を確保する）

<材料>

表紙 黒色画用紙 (例) 18cm×13cm

鍵盤 白色画用紙 (下)

鍵盤上 黒色画用紙 (下)



メッセージカードは市販のものを活用する (100円ショップ等で購入)

その他、シールやマスキングテープも市販のものを活用することで華やかになる